

教育保育目標： 『心もからだも健康な子ども』

- 意欲をもって行動する子ども ●豊かな感性をもった子ども ●友達と仲良く遊ぶ子ども ●丈夫で元気な子ども ●気持ちや考えを伝える子ども

護摩堂山のあじさいがたくさんの町内外の人たちの目を楽しませてくれています。山頂からは、敷き詰められた緑のじゅうたんの中に広がる田上の町並みがひととき美しく見られる季節になりました。

梅、たけのこの次はあじさいがこの町を活気づけてくれます。子どものころ何気なく目にする自然の姿。大きくなっても大切にしたい故郷の風景として確

実に子どもの心にしみついていくことでしょう。その深さは大人があらためて教えることではなく、その子の中でどれだけ実体験として生きつづいたものかどうかによって決まるのではないのでしょうか。この美しく穏やかで人と人が温かく結びつく町を子どもたちに引き継いでいきたいものです。園庭に植えたあじさいの苗木が大きくなってきました。

子どもは子どもの世界を大切にしたいのではないのでしょうか?!

私たちは自分が子どもだった頃、毎日何かに夢中になっていたこと、楽しい思いやくやしい思いなど様々な感情をいざなぎ夢中で生きていたこと、そして、たくさんのできごとから受けた感動をもとに大きくなったことを忘れてしまいがちです。子どもは子どもらしく友達や物をはじめとした環境と関わりながら自分をつくっています。その子その子の自分らしさを大切にしたい保育活動を考えながら取り組んでいます。



大人の真似は学びです

子どもたちが大好きなおまご



遊びで対話力がついて行きます

腰までつかりながら話に夢中



どんなところも遊び場にします

登れるように支えてあげます

(写真と違いますが)小さな子どもが職員室で清掃時に使うゴム手袋を見つけました。なんとか両手にはめると隣の特別室のガラスを拭く動作をしていました。部屋でガラス拭きをする職員のまねがしたかったようです。お家でも大人のすることをよく観察し、まねをしながら色々覚えるようです。

ちょっと暑い日でした。子どもたちが集まって園庭に川をつくりました。川の途中にできた大きな水たまりで、腰までつかりながら夢中で話し合っています。いったいどんな話をしているのでしょうか?とても楽しそうな姿がしばらく続いていました。(※この後はお湯で体をきれいに洗い、着替えていました。)

子どもたちはどんなところでも自分たちがやりたいことを考えて遊び場にします。ステージでは段差をうまく利用して滑り台を作りました。気の合う仲間と全身を使って遊びます。登る、滑る、回転する…。体の堅い大人にはまねができない様々な動きで、自分の体の使い方を覚えていきます。

子どもの安全を守るために

《 豪雨と土砂崩れを想定した避難訓練 》

近年地球規模で起こる気候変動が、これまでにない豪雨災害をもたらしています。園の周辺もたくさんの雨が一気に降った際、園庭が水没することもありました。

そのような大規模災害にそなえ、先日豪雨と土砂災害を想定した避難訓練をしました。

高い所に上がり救助を待つという訓練です。その後、スクリーンで災害情報を配信し、迎えに来た保護者に園児を一人ひとり引き渡すという模擬訓練を行いました。



《 水の事故などを想定した救急救命講習会 》

7月に入るとプールでの水遊びが始まります。子どもと一緒に遊ぶ(指導する)職員とは別に、必ず2名の監視職員を配置して、安全を確保しながら水遊びを楽しめるようにします。

3日間にわたり加茂・田上地域の救急担当の方から事故が起きた時の対応や適切な対処法を指導していただきました。心臓マッサージの訓練では汗だくでした。

子どもたちが安心・安全の中で思い切り水遊びを体験できる夏にしたいと思います。



の
予 定

- 1日(土) 希望保育
- 3日(月) 田上町合同参観日
- 5日(水) えいごであそぼう
- 6日(木) プール開き
- 8日(土) 希望保育
- 12日(水) えいごであそぼう
- 15日(土) 個別懇談会(3~5歳児) 希望保育
- 17日(月) ① 海の日
- 19日(水) 食育の日

- 22日(土) 希望保育
- 26日(水) 加茂田上新採用教員体験研修
- 27日(木) 避難訓練
- 28日(金) 園だより配付 布団・靴持ち帰り
- 29日(土) 希望保育
- 31日(月) 各種たより配付

※毎週木曜日にはことばの相談会があります

お知らせ と お願い

【 町合同参観日のお知らせ 】

各園や小・中学校では年に数回参観日を設け、生活や学習の様子を観てもらおう機会にしています。田上町では年に一度、幼児園や小・中学校の参観日を同じ日に行い、保護者や地域の方々から子どもたちの成長や生活の様子を自由に観てもらおう合同参観日を開催しています。

どなたでも園や小中学校の授業を参観できます。この機会に是非ご覧ください。

- 期日：7月3日
- 幼児園：9時~12時
- 小学校：5時間目のみ(田上 2:00~、羽生田 1:55~)
- 中学校：6時間目のみ(2:50~)

【アメリカザリガニやアカミミガメの飼育】

幼児期は色々な小動物に興味や関心が芽生え、自分で飼ってみたい気持ちになる子どもがいます。命を考えるきっかけにもなり、大切な体験活動です。園庭で見かける小動物に関心をもつ子どもや飼育容器で小動物を飼うクラスもあります。

最近アメリカザリガニとアカミミガメを野外に逃がすことが禁止される通知が園にも届きました。子どもにとって大切な観察・飼育ですが、環境保全にも配慮して取り組みたいと思います。園に持ち込む際は事前にご相談ください。

《 職場体験、しっかりした感想が返ってきました 》

田上中学校の2年生男女合わせて9名の生徒が幼児園で職場体験をしました。朝から3時ごろまでほぼ一日子どもと関わりながら、それぞれの子どもたちが体験を通して学びたかったことを汲み取っていたようです。

保育者との話し合いでは、全員の生徒が質問したり、聴き取ったことをメモしたりして本当に真剣に臨んでいました。

感想を聞いてみると、実体験ならではのしっかりとした感想を聴くことができました。一つだけ紹介します。

『「先生たちが子どもに〇〇してね」と言わないで、「〇〇するにはどうしたらいい?」と、優しく声を掛けていた。そのことから子どもたちがどうすれば成長するのか考えて保育をしているのだな一と思いました。』という感想です。

竹の友の職員が日々大切にしている幼児教育の在り方を感じ取る力に感心しました。



ほいくの窓 ※このコーナーは特別支援教育部が担当しています

皆で話し合い、自分たちで考え、決めて活動していく子どもたち
~きりん組の生活から~

新しい生活がスタートして3か月...どのクラスでも、安心し自分を発揮しながら過ごす姿がたくさん見られるようになりました。こんな風に未満児から5歳児まで、それぞれの年齢なりに、子どもたちが遊びや生活を創り出しながら、園が自らの生活をする場となってきている様子を嬉しく思います。

そんな園生活も、5歳児になると、「皆で話し合い、自分たちで考え、決めて活動していくこと」が多くなってきます。そしてそのために、毎日の生活の中に「(通称)子ども会議」の時間を取り入れ、皆で考え話し合うことを大切にしています。そこで大事になるのが「共有!」ですが、小さな子どもにとって目に見えないものを共有していくことは難しいことがよくあります。

その支援として、話し合いでの情報を保育者が絵や文字にして書き出すなど可視化しています。



話し合い、自分たちで考えたり決めたりしていく過程が、自分たちの活動や生活を創り出していくことへとつながっていきます。



「何を育てたい?」「何が育てられる?」栽培活動に向けて...

ふわふわことばとちくちくことば

視覚情報を取り入れることは、子どもたちにとって、皆がわかりやすく活動しやすい支援となっています。UDL(ユニバーサル・デザイン・ラーニング)の視点に基づく教育・保育です。

お子さんの「難しい」「困った」に対して「どう支援したら良いのかな?」と悩まれることって、子育ての中で日々ありますよね。そんな時、UDLの考え方が力強い味方となってきますよ。もちろん、私たち職員が一番身近な味方でありたいと思っています。お子さんの育ちを応援するパートナーとして、ぜひ一緒に考えていきましょうね。